

出前講座（釧路町村議会議長会）実施概要

1. 開催日：令和5年11月16日
2. 会場：釧路町公民館
3. 講座概要：地球温暖化と運輸
4. 講座内容：
 - ・地球温暖化対策に向けて
 - ・物流への対策
 - ・道内のカーボンニュートラルへの動き

日本の動き

地球温暖化対策計画

・2021年10月22日、地球温暖化対策計画が閣議決定

■地球温暖化対策推進法に基づく政府の総合計画
 「2050年カーボンニュートラル」宣言、2030年度46%削減目標等の実現に向け、計画を改定。

削減対象ガス排出量 (単位：百万トンCO ₂)	2013年排出実績	2030年排出目標	削減率	従来目標
エネルギー総排出	12.35	7.60	▲46%	▲26%
産業	4.63	2.89	▲38%	▲7%
建物のエネルギー消費	2.36	1.16	▲51%	▲40%
運輸	2.08	0.70	▲66%	▲39%
運輸	2.24	1.46	▲35%	▲27%
エネルギー総消費	1.06	0.56	▲47%	▲27%
非エネルギー総消費(CO ₂ 、CH ₄ 、N ₂ O)	1.34	1.15	▲14%	▲8%
非CO ₂ 4ガス(CFD:当)	0.39	0.22	▲44%	▲25%
削減率	-	▲0.48	-	(▲37%削減CO ₂)

【元データ：環境省作成】

総合物流政策大綱

新コロナ流行による社会的動向の変化もあって、我が国の物流が直面する課題は先鋭化・鮮明化

①物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の最適化した物流化
 (得意で得意な物流)

②の空力不足対策と物流機材の最適化
 (得意でない物流)

③物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の最適化した物流化
 (得意で得意な物流)

④の空力不足対策と物流機材の最適化
 (得意でない物流)

⑤物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の最適化した物流化
 (得意で得意な物流)

⑥の空力不足対策と物流機材の最適化
 (得意でない物流)

⑦物流に關する広範の強化

⑧感染防止や大規模災害等有事においても機能する、強靭で持続可能な物流ネットワークの構築
 (2) 我が国産業の国際競争力や持続可能な成長に資する物流ネットワークの構築
 (3) 地球環境の持続可能性を確保するための物流ネットワークの構築(カーボンニュートラルの実現等)

貨客混載の活用例

東合バス

東合バス

東合タクシー

①定期路線運行を行う乗合バスにおいて、同一方向に向かう貨物と一緒に、地域のトラック事業者と共同することで、効率的な運送を実現

②運行ダイヤに応じて、旅客運送・貨物運送を行い、効率的な運送を実現

③区域乗合許可を受けているタクシー車両等において、宅配業者等の宅配貨物を旅客と混載して、最終目的地まで乗配貨物を届けるとして、効率的な運送を実現

脱炭素先行地域の選定(環境省)

脱炭素先行地域とは我が国全体の2030年度目標と整合する削減と地域特性に応じて実現する地域のこと。

上士幌町
 鹿追町
 石狩市
 札幌市
 奥尻町
 苫小牧市

重点加速化事業
 札幌市、苫小牧市、登別市、当別町、喜茂別町、滝上町、士幌町、鹿追町

5. 実施風景



6. 受講者の感想（一部抜粋）

- ・大変分かりやすい説明でした。町村の政策にも使えそうなお話がちりばめられていて、参考になりました。（町のデマンドバスで混載事業ができないか、再配達削減で町村が置き配の補助をすることはできないか、町内事業者が導入するEVトラックの独自支援、充電設備設置に対する独自支援、生産者主体の混載事業は転用ができそう。脱炭素先行地域は小さい町村にとっては大きい。）
- ・江丹別の先行例が良かった。街づくりと関係する事が大事になると思いました。